

迎春年頭のご挨拶

日高川町長 玉置俊久



あけましておめでとうござい
います。

二〇二二年の輝かしい新春を
迎えますが、嬉しいお正月を
ご家族でお迎えになられた
ことと存じます。私も元旦
には町内の八つの社寺に町の
安泰と発展を祈願にと初詣
に参ります。今年はさらな
る躍進の願いを込め、心新
たに新春の決意をしていま
す。

さて昨年も、政治、経済
共に大変な年でした。国民
の期待という大きな風を受
けて誕生した民主政権、し
かしながら、はつきりしない
政策、足踏み、外交問題や、
TPPへの取り組の曖昧さ、
資質を疑うような問題が多
発したりしてすっかり信頼

を無くしてしまっています。

失なわれた十年がまだ十年
続くのでしょうか。気がつけ
ば日本の国力は中国にも大
きく差をつけられてしまいま
した。その間に少子高齢化
がどんどん進み、和歌山県
も人口百万人を切り、わが
町も二万七千人を切りました。

世の中の流れも昨年と大
きく変わりました。どうも
暗い話題が先行した年でも
ありました。しかし方、わ
が町に目を向けると明るい
話題もたくさんございまし
た。消防団が操法大会で県
下二になり、全国大会でも
頑張ってくれました。また、
鳥獣被害対策としての環境
警備隊、そしてジビエ工房紀
州の一貫した取り組みは農林

水産省からも評価をいただ
き、全国から二十五団体も
の視察が来町されています。

ホテルもたくさん飛び交い、
新しくできたホテルの遊歩
道もまるで夜の繁華街並み
のにぎわい。点々と元氣印
が起こつてきました。各地
区の村祭りも年々盛大にな
り、いろんなイベントもいつ
なく活況でした。「みんな
自分達の地域を」との思い
が日高川に沿って湧きいず
る感です。

新しき年、大きく変わ
る年でもあるうかと思いま
す。高速道路も五月頃に
は有田までの四車線化が完
成します。長年の交通渋
滞がいくらか緩和されそ
うです。御坊、田辺までの四

車線化と川辺ICのフルイン
ター化もやつと進み出しま
す。携帯電話の不感地域解
消も大幅に進みました。集
落間の暗い通学路への防犯灯
設置も進み出しました。イ
ンフラ整備が進んでしまし
た。母なる日高川をもっと
楽しく、そしてきれいにし
ていきたいの思いも多くの
関係者の力で前へ進みそう
です。鳥獣被害対策も害獣が
資源と化するような発想の転
換で、さらに思い切った対策
で前へ進めます。専業で頑
張っておられる若手の農業従
事者への支援、工場誘致な
ど町としても地域の経済活
性化に取り組みと共に、国
の経済対策などに素早い対
応で皆さんに最大限ご活用

いただけるようフットワー
クを軽くしていきたいと思いま
す。本当に必要な事業、将
来を見越した事業、緊急を
要する事業、それらを見極
め、政府に積極的に提言
し、全国からまだまだ視察
が訪れるくらいの質の高い事
業実現を図ります。時には
トップセールスで難局を踏破
していきたいと思えます。

今年も厳しい年ではある
うかと思えますが職員「同
生懸命「日本のまちづくり」
に励みます。ご支援ご協力
よろしくお願いたします。
皆様には今年もご健勝で、
ご家族そろって元氣な幸多
き年になりますようお祈り
申し上げます。お正月のご挨拶
とさせていただきます。

日高川町議会議長

熊谷重美



新年あけましておめでと
うございます。

町議会を代表し新年のご
挨拶を申し上げます。皆
様におかれましては平成
二十三年の新春を健やかに
お迎えの事とお慶び申し上
げます。また旧年中は議会
に対しましてご理解とご協
力頂きましたことを厚くお
礼申し上げます。

さて、私達議会は、昨年
「議員定数と議会のあり方
に関する調査特別委員会」
を設置し、議論・検討を重
ねてきました。昨年十一月、
議員定数の削減を賛成多数
で可決し、引き続き適正な
定数を決定するための議論・
検討を重ねています。また、

「議会のあり方」について
も、開かれた議会を念頭に
置き今後の課題として取り
組んでいかなければなりません。
皆様との対話の機会を
もつということで、些細なこ
とではあります。昨年は
ゲートボール大会や各種イベ
ントへ大勢で参加させて頂き
ました。これからもこの様
な機会を広く求めていきま
いと思えます。

長引く不況は国外・国内
ともに好転の兆しは見えず、
国際社会の中での我が国の
影の薄さなど、「日本」に
とっては今年も厳しい年であ
ると推測されますが、国の
行財政改革により計り知れ
ない負の経済的影響を受け
ている地方自治体にとっては
更に厳しい年であると思いま
す。

自主財源に乏しく、国・
県に頼らざるを得ない日高
川町もご多分に漏れずと
いうところですが、皆様の
智慧と力をお借りしなが

